東洋紡エムシー株式会社

本　　社　〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス
東京支社　〒104-0031　東京都中央区京橋一丁目 17 番 10 号

2026 年 11 月 9 日

「低金属」化に対応した合成・分析評価施設を高砂工場に建設
～電材・半導体分野での事業拡大に向け、研究開発基盤を強化～

東洋紡エムシー株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長執行役員 CEO:藤井 尚毅、以下「当社」)は、ファインケミカル事業における電材・半導体分野への事業拡大を目指し、当社高砂工場(兵庫県高砂市)に、金属不純物を低減した化学物質(低金属材料)に対応する、クリーンルームを備えた合成・分析評価施設を建設します。建設開始に先立ち、2026 年 10 月 19 日に安全祈願祭を執り行いました。施設の竣工は 2027 年 3 月を予定しています。

当社が本年策定した中期経営計画「成長の加速−変革 2.0−」※では、電材・環境・モビリティの 3 つの領域に経営資源を集中させ、2030 年度に向けてさらなる成長を目指す方針を打ち出しています。ファインケミカル事業は、電材領域を担う事業の一つであり、独自の有機合成技術を生かして、電材・半導体材料の開発を強化しています。


10 月 19 日に執り行った安全祈願祭

電材・半導体分野では、デバイスの高性能化や歩留まりの向上を図るため、材料に含まれる金属不純物を限りなく低減する「低金属」化へのニーズが高まっています。当社は、こうしたニーズに対応するため、低金属材料の合成技術や分析・評価技術を強化する必要があると考え、このたびファインケミカルの開発拠点である高砂工場に、合成・分析評価施設を建設することといたしました。

当社は、電材・半導体材料の開発を支える基盤技術の整備、強化を通じて、同分野における事業拡大を目指してまいります。

※中期経営計画「成長の加速−変革 2.0−」を策定 ～2030 年を見据えた 2026～2028 年計画～ (2026 年 5 月 13 日、当社発表)

■ 新クリーン棟の概要

所在地	兵庫県高砂市曽根町 2900 番地
延べ床面積	119.11m^2
構造	鉄骨造 1 階建て
用途	研究所
クリーン度	分析室:クラス 1000
竣工	2027 年 3 月(予定)
設計	東洋紡エンジニアリング株式会社
施工	株式会社ソネック

以上

このニュースリリースに掲載されている内容は、発表日時点の情報です。 発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ先
東洋紡エムシー株式会社　経営企画部　企画・広報グループ　Mail：info_tmc@toyobo-mc.jp　Tel：06-6348-3310